

建機・農機における製品開発力と生産性向上のためのWhatとHow！

～安全で生産性の高いスマートな未来の現場づくり、次の一手を考える～

日本の建設・農業機械産業が直面する課題である、労働力不足に対する生産性の向上、ICT化へのさらなる推進、労働者高齢化に対する技能伝承、危険が高く厳しい労働環境における安全性の担保などに対し、デジタル技術をどのように活用し解決していけるのか、世界のユースケース事例を交え実現・実践のポイントという内容で、ウェブセミナーを開催いたします。

この度は3つのテーマに絞り、それぞれの視聴期間中にお客様がいつでも好きな時に動画ファイルにアクセスして閲覧いただけます。本来であれば、皆様に直接お会いしてご紹介させていただく内容ではございますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の措置として動画配信の形を取らせていただくこと、ご容赦いただければ幸いです。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

プログラム	視聴期間	所要時間
1. 自動運転とモデルベース開発の実践	2020年5月25日(月)10:00～ 2020年5月29日(金)17:00	約60分
2. デジタルスレッドによる製品開発の革新とスマートファクトリーの実現	2020年6月 1日(月)10:00～ 2020年6月 5日(金)17:00	約60分
3. シミュレーションによるデジタルツインの実現 ～2025年の崖を超えられますか？～	2020年6月 8日(月)10:00～ 2020年6月12日(金)17:00	約60分

【概要】

1. 自動運転とモデルベース開発の実践： 無人運転車の開発を効率良く短期間に実施するには、デジタル化戦略が必須となっています。自動運転のためのセンサーシミュレーションと制御技術はそのコア技術となります。デジタル化技術により、鉱山や農地における多様な無人走行シナリオを想定し、制御ロジックの検証を自動化し結果の見える化を実現します。またAIを駆使したモデル化、設計、制御技術により車両の走行制御、電動化、燃費に関する多性能の検証を行い、開発スピードを大幅にアップさせることが可能となります。

2. デジタルスレッドによる製品開発の革新とスマートファクトリーの実現： 本プログラムでは、はじめに、製品開発プロセス全体において、建機・農機業界に対してシーメンスが提供するデジタルプラットフォームをご紹介します。次に、製品設計領域において、デジタルプラットフォームが製造業に与える役割とバリューをご紹介します。最後に、製造準備や製造段階における、生産技術を軸にしたデジタルスレッドとデジタル化による工場スマート化のバリューをご紹介します。

3. シミュレーションによるデジタルツインの実現 ～2025年の崖を超えられますか？～： 製造業における日本の競争力を復活させるための重要な取り組みとして、シミュレーションを使いこなしたフロントローディング設計はとても重要です。また、環境問題に取り組むうえでもシミュレーション技術をどれだけ使いこなせるかにより、持続的な競争優位性を確立できるかが決まります。本プログラムでは、建機・農機の分野に必要な不可欠なシーメンスSimcenter（シミュレーション技術）を1D(システム・シミュレーション)、3D(構造解析)、TEST(騒音振動解析)、CFD(熱流体解析)の4つに分けて紹介いたします。

※ セミナー内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください

参加申し込み

お手数ですが右記QRコードよりお申込みください（スキャンまたはクリック）
受付確認後、事務局より動画サイトへの情報をご案内致します

費用

無料（事前登録制）



お問い合わせ：シーメンスデジタルインダストリーズソフトウェア
ポートフォリオ開発本部 奥村
E-mail: sonoko.okumura@siemens.com